

開隆3

tell 人 to do	
want 人 to do	
ask 人 to do	
普通の命令文の書き換え	
Pleaseの命令文の書き換え	
* (発展) Shall I の書き換え	
want	
want to do	
It be 形 for 人 to do	
人 be afraid that	
人 be glad that	
人 be sure that	
人 be surprised that	
that の後ろには	

人に～するようにいう	
人に～してほしい	
人に～するよう頼む	
～したい	
人にとって～することは…だ	
～を心配する、恐れる	
～が嬉しい	
～きっと～である、～は確かである	
～に驚く	

間接疑問文の語順は	
私は彼がいつくるのか知らない	
あなたは彼がいつくるのか知っていますか	

tell 人 that	
人に～ということを教える、伝える	

call A B	
make A B	
使役動詞三つ、意味	
使役動詞の使い方	

AをBと呼ぶ	
AをBの状態にさせる	

名詞の修飾 修飾語が2単語以上の時の位置	
ものを修飾するとき	
人や動物を修飾するとき	

関係代名詞 三つ	
関係代名詞の使い分け	
関係代名詞はいつ省略されるか	

起こり得ない時のif節の時制	
起こりうる時のif節の時制	
I wish の文	

開隆3

tell 人 to do	人に～するように言う
want 人 to do	人に～してほしい
ask 人 to do	～人に～するように頼む
普通の命令文の書き換え	tell 人 to do
Pleaseの命令文の書き換え	ask 人 to do
*(発展)Shall Iの書き換え	Do you want me to do ~ ?
want	ほしい
want to do	～したい
It be 形 for 人 to do	人にとって～することは～だ
人 be afraid that	～を心配する、恐れる
人 be glad that	～が嬉しい
人 be sure that	～きっと～である、～は確かである
人 be surprised that	～に驚く
that の後ろには	主語 + 動詞(thatは省略可能)

人に～するようにいう	tell 人 to do
人に～してほしい	want 人 to do
人に～するよう頼む	ask 人 to do
～したい	want to do
人にとって～することは…だ	It be 形 for 人 to do
～を心配する、恐れる	人 be afraid that
～が嬉しい	人 be glad that
～きっと～である、～は確かである	人 be sure that
～に驚く	人 be surprised that

間接疑問文の語順は	疑問詞 + 主語 + 動詞(who + 動詞)
私は彼がいつくるのか知らない	I don't know when he comes.
あなたは彼がいつくるのか知っていますか	Do you know when he comes?

tell 人 that	人に～を伝える(教える)
人に～ということを教える、伝える	tell 人 that

call A B	AをBと呼ぶ
make A B	AをBの状態にさせる
使役動詞三つ、意味	make, have, let, ～させる
使役動詞の使い方	使役動詞 + 人 + 動詞の原形

AをBと呼ぶ	call A B
AをBの状態にさせる	make A B

名詞の修飾 修飾語が2単語以上の時の位置	1 語：名詞の前、2語以上：名詞の後ろ
ものを修飾するとき	過去分詞を使う(ed)
人や動物を修飾するとき	現在分詞を使う(ing)

関係代名詞 三つ	that, which, who
関係代名詞の使い分け	that(なんでも), which(もの), who(人)
関係代名詞はいつ省略されるか	関係代名詞 + 主語 + 動詞

起こり得ない時のif節の時制	過去形
起こりうる時のif節の時制	現在形
I wish の文	～ならなあ

開隆2

～でしょう	
～するつもりです	
～とき	
もし～ならば	
～と考える、思う（論理的に）	
～しなければならない	
～する必要がある	

不定詞の意味三つ	
動名詞の意味	
不定詞の形	
動名詞の形	

比較級の形容詞・副詞の変化	
～より(前置詞)	
最上級の形容詞・副詞の変化	
～の中で 二つ、意味の違い	
good,wellの比較級・最上級	
badの比較級・最上級	
many,muchの比較級・最上級	
littleの比較級・最上級	
同等比較 ～と同じくらい～	
not as 原級 as～	

～のやり方	
～のように見える	
～になる	
第四文型	
for型の動詞	
to型の動詞	

受け身の基本形	
受け身の意味	
動作主を表す前置詞	
～に知られている	
～に覆われている	
～に話しかけられる	

現在完了形の基本形	
意味三つ	
ちょうど	
すでに	
もう	
まだ	
今までに	
決してない	
1回、2回、3回、何回も	
～から	
～の間	

開隆2

～でしょう	will
～するつもりです	be going to
～とき	when
もし～ならば	if
～と考える、思う（論理的に）	think that
～しなければならない	must
～する必要がある	have to

不定詞の意味三つ	～こと、べき、ために
動名詞の意味	～こと
不定詞の形	to+動詞の原形
動名詞の形	動詞ing

比較級の形容詞・副詞の変化	-er, more+形容詞(副詞)
～より(前置詞)	than
最上級の形容詞・副詞の変化	-est, most+形容詞(副詞)
～の中で 二つ、意味の違い	in+集団, of+数詞
good,wellの比較級・最上級	better-best
badの比較級・最上級	worse-worst
many,muchの比較級・最上級	much-more
littleの比較級・最上級	less-least
同等比較 ～と同じくらい～	as 原級 as
not as 原級 as～	～ほど～ない

～のやり方	how to
～のように見える	look like
～になる	become
第四文型	S+V+O+O
for型の動詞	buy, make, cook
to型の動詞	give, show, teach

受け身の基本形	be動詞 + 過去分詞
受け身の意味	～られる
動作主を表す前置詞	by
～に知られている	be known to
～に覆われている	be covered with
～に話しかけられる	be spoken to by

現在完了形の基本形	have + 過去分詞
意味三つ	～した、～し続けている、～したことがある
ちょうど	just
すでに	already
もう	疑問文のyet
まだ	否定分のyet
今までに	ever
決してない	never
1回、2回、3回、何回も	once, twice, three times, many times
～から	since
～の間	for

開隆1

動詞の種類	
一般動詞の疑問文	
一般動詞の否定分	
be動詞の疑問文	
be動詞の否定分	
命令文とは	
～できる	
助動詞の疑問文	
助動詞の否定分	
～がある、使い分けも	
進行形の基本形	

開隆1

動詞の種類	be動詞、一般動詞
一般動詞の疑問文	Do(Does,Did) 主語～？
一般動詞の否定文	主語 don't(doesn't, didn't) ～
be動詞の疑問文	Be動詞 主語 ～？
be動詞の否定文	主語 be動詞 not～
命令文とは	動詞の原形～
～できる	can
助動詞の疑問文	助動詞 主語 動詞の原形～？
助動詞の否定文	主語 助動詞 not 動詞の原形.
～がある、使い分けも	There is 単数. There are 複数.
進行形の基本形	be動詞 + 動詞ing